

形が見えてきた工事中の遊歩道



下で健康増進事業を一層推進しながら財政運営の安定化を図って参ります。

### 老人保健について

介護保険の開始に伴って、従来老人医療費として支出されていた費用のうち、介護的要因による費用・総医療費の約1割が介護保険に移行するものと予想されております。また、7月から医療費1割自己負担も導入される見込みであり、医療費は総じて減額になると思われませんが、高齢化の進展に伴う被保険者は増加の一途であり、また、医療技術の高度化等も手伝って医療費は年々増加しており、介護保険や一部負担金制度の導入がそのまま医療費総体の減額に結びつかないのが現状であります。

今後の動向を十分見極めながら国保会計同様、健康教育・健康相談事業を積極的に展開し、誤りのない財政運営を図って参りたいと考えております。

### 農業振興について

厳しい農業情勢にある今日、認定農業者を中心とした担い手農家の育成や生産組織の強化を図りながら、農地の流動化や生産コストの低減、経営の合理化等を積極的に進め、関係機関と一体となって農業経営の体質強化に努めて参ります。また、農村地域の活性化のため、生活アドバイザーを中心に農村における女性の活躍を期待し、支援して参ります。

依然米余りが続く中で水田農業経営確立対策が実施され、「需要に応じた米の計画的生産」と「米の作付けを行わない水田を利用して麦、大豆等を本格的に生産する。」ことにより、最大限の農家所得を確保することを目的として、自給率の低い麦、大豆等について、従来の転作作物という考えから一歩踏み出し、本作として位置付け、作付け面積の拡大と手厚い助成を行うこととしております。

### 商工振興について

本村の商工業の振興につきましても、農家経済の悪化や近隣市町村への大型小売店の進出等、厳しい環境の中で苦戦を強いられておりますが、商工会との連携を一層強めながら、地場産業の振興発展や中小企業の育成、商店街の活性化などを積極的に進め、活力ある商工業の発展に努めて参ります。

また、就労の場を確保するため、昨年下曲通地区に約3分の1の規模で計画いたしました工業等導入地区の指定につきましては、種々の要因により手続きが遅れておりますが、本年度の出来るだけ早い時期に指定を受ける計画であります。

### 土木事業について

3年目に入ります農村総合整備事業は、遊歩道を完成させると共に、集落道、消雪施設の整備を進めて参ります。また、本年度分を含めた進捗率は75%を超え、事業量も残り僅かとなることから、同事業の第2期採択に向け住民意向調査を行い、整備計画の策定に努める所存であります。

県営で進めているふるさとづくり河川事業の遊歩道の完成は予定より2年延伸となりましたが、旧月潟駅迄の施工延長も県の努力によりまして確定いたしましたところであり、このことから、村の負担事業分も旧駅周辺の環境整備計画や遊歩道における付帯関連施設の設置など、県事業と一体的な整備に取り組んで参ります。

更に緊急雇用対策事業の一つとして中ノ口川堤防の雑木等の処理を行うと共に、宅地排水路の床止めや改良工事など地区環境整備に努めます。

### 下水道について

住民の良好な生活環境の維持と公共用水域の水質保全を図る観点から平成18年度の一部供用開始を目標に面整備の拡大を進めて参ります。

### 簡易水道について

安全で安定した良質の水道水の供給をモットーに事業運営にあたって参ります。このため石綿管の解消を図るべく老朽管布設替を他事業との同時施工で進めると共に、安定水利権の更新期を迎え、新たな利水計画を策定し、水量の安定確保に取り組んで参る所存であります。

### 工場団地造成事業について

本年度は、進出を希望する優良企業も内定いたしましたことから、全体計画のおよそ3分の1にあたる約1畝におきまして用地取得、造成、処分と一連の行程の中で事業に取り組んで参りたいと考えておるところであります。

### 消防防災について

施設・設備の充実した白根地域消防本部と村消防団の更なる連携強化を図り、訓練を通して組織と体質の強化を図る所存であります。

また、昨年度老朽化した防災行政無線基地局のデジタル化への更新に引き続き、本年度は全家庭の個別受信機を更新させていただきます予定であります。

### 教育振興について

大学の進学を奨励するため、引き続き奨学生枠の拡大を図ります。また特殊学校へ通学する児童・生徒に対しても就学援助費の金額の見直しを行い、実情に合わせた増額の条例改正をさせていただきました。また、平成13年度から始まる新学習指導要領を目前にして、その新課題となる総合学習などの試行を「チャレンジ21」事業で取り組んでいくことになっております。地域の人々との交流を進めると共に校内外での自然観察、地域観察で情操教育を推進し、いじめなどの起こらない思いやりと連帯感のある生き生きとした学校づくりを目指します。

更に学校教育での集団生活に馴染めない児童・生徒の健全育成を図るために、心の相談員及び教育相談員を委嘱して個別具体的な事例に対応した心のケア体制を充実し、早期復学の支援を図ります。人づくりの面からは、引き続き中学生のオーストラリアホームステイ事業を実施し、国際的視野と感性を磨く体験ができる計画を予定しております。

以上のとおり平成12年度施政方針について主なものを述べさせていただきました。月潟村の更なる発展のため、皆様からのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

介護保険被保険者証	
有効期限	年 月 日
番号	
住所	
氏名	
生年月日	
交付年月日	
交付番号	11535102
交付場所	月潟村
交付年月日	

介護保険証



更新される戸別受信機



特別養護老人ホーム